

学校教育目標：心身ともに健康で、個性豊かな実践力のある子どもの育成

明野小学校学校だより 【1~5年生配付版】

# あけの

伊勢市立明野小学校

令和4年3月24日

発行人 岡村 昭

## 令和3年度 卒業式

18日午前9時より本校体育館において、令和3年度（第42回）卒業式が行われました。昨年に引き続き、卒業生・保護者・職員のみでの参加となりました。今年も、呼びかけ・歌唱なしという式になりましたが、この日に向けて制作したスライド上映では、卒業生の気持ちがこもった言葉と歌声が披露されました。卒業生たちは立派に卒業証書を受け取り、思い出がいっぱいの明野小学校を巣立っていきました。卒業生一人ひとりの中学校でのさらなる活躍を期待しています。



## 6年生奉仕作業



6年生が、卒業前に奉仕作業をしてくれました。今年は、校庭の側溝を中心に環境整備に取り組みました。1枚ずつふたを開けて、溝にたまった土砂を取ってくれました。しばらく側溝掃除を行っていませんでしたので、土砂がたくさんたまっていました。作業は大変だったと思いますが、おかげで側溝がとてもきれいになりました。



## 今年度大変お世話になりました

保護者の皆様には、今年度1年間何かとお世話になりました。皆様のご理解とご協力のおかげで、今年度を終えることができます。心より御礼申し上げます。本年度もコロナ禍の中、PTA活動につきましても、活動が大幅に制限されました。そんな中でも、年2回のPTA新聞発行、危険箇所の点検、運動会運営への協力、ベルマーク作業等を行っていただき、オヤベン部では配信による食育講演会を実施していただきました。役員さんをはじめ皆様のおかげで、できることから少しずつ活動を進めていただいております。本当にありがとうございました。

# 6年生を送る会

今年の6年生を送る会は、当初は、体育館で6年生と他学年が順番に「対面」して、直接感謝やお祝いの言葉を届ける…という計画を5年生が立ててくれていました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大により、その方法を断念せざるを得ませんでした。そこで、昨年度のように、各学年から6年生にビデオメッセージを送ることになりました（各学年とも体育館にて、マスク着用の上、隣との間隔をとってビデオ撮影を行いました）。今年は、ICTを利用して、全校でお互いの発表を見合う時間とする工夫を5年生が考えてくれ、同じ時間に思いを伝え合うことができました。どの学年も、卒業していく6年生に向けて、心を入れて言葉や歌声・ダンス等を贈りました。

「体育館にみんなで集い、対面による『送る会』を行いたい」という気持ちは6年生も在校生も一緒だと思います。コロナ禍により、そのことが実現できないことを考えると、とても残念でやり切れないですが、そんな中でも、計画を工夫し、できることに心を入れたことで、みんなの思いは十分に6年生の心に届いたのではないのでしょうか。6年生の教室では拍手が起こり、画面を見ながらジーンとしていた子たちも多かったとのことです。



↑ 1年生



↑ 2年生



↑ 3年生



↑ 4年生



↑ 5年生



↑ 6年生

## 学校評議員さん ありがとうございます

本年度も、5名の方にお世話になりました。今年は、6月に第1回評議委員会を、2月に第2回評議委員会のかわりに資料でのふりかえりや1年のまとめを行いました。評議員の方々からは、「アンケート結果から、先生方の的確なご指導とご努力の成果が良い方向へ進んでいることを実感しました。」「コロナ禍の中、学校行事の遂行はかなり大変だったと思う。先生方のご努力に感謝申し上げます。」等、新しい学校生活様式の中で、何ができるかの工夫について一定の評価をいただきました。また、「公園で遊ぶ子どもたちが少なくなっているのは残念だが、子ども達もきちんとマスクを着用して頑張っていると思う。」「コロナ収束の見当がつかないのは大変だが、ひとり一人の心構えが大切なので、これからもよろしくお願いします。」「先生は業務が多く忙しいと思いますが、いじめ問題は注意してやってください。」とのお声もいただきました。これらのご助言を今後にかしなが、どの子どもも安心して学校生活を送ることができるよう、教職員一同努力してまいりますので、引き続き学校・保護者・地域の連携をよろしくお願いいたします。

【お知らせ】 令和4年度の4年生は、一学級の人数を減らして指導や支援を行うことにし、5学級の学級編制とします。